

幸世だより

2021年 ー第3号ー

＝発行＝
幸世自治振興会

＝編集＝
幸世地域づくり運営委員会
TEL/FAX(0795)82-5038
【発行日：令和3年2月】



会員の皆様には、お元気でお暮らしのこととお喜び申し上げます。
令和3年の幕が開きました。

昨年は新年早々から新型コロナによって幕が開け、世界中に感染拡大し、あらゆる事業やイベントの自粛や制限を余儀なくされ日本においても、4月7日に『緊急事態宣言』発せられ、行政、経済界等我々の日常生活に暗い影を落としました。

「医療現場」の危機が叫ばれる中、新年早々1月7日に第2回目の『緊急事態宣言』が関東に、続いて1月14日に関西3府県に『緊急事態宣言』が発令されました。
今なお感染拡大が続いております。

新型コロナの終息が見えない状況ではありますが、前を向いて、感染拡大防止に努めながら、幸世地域の活性化、地域づくりに取り組んでまいりたいと思います。

今は1日も早く新型コロナが終息し、マスクのいらない”普通の生活”に戻れることを願います。

幸世自治振興会会長 上村行男



【令和2年度】

幸世自治振興会 組織図

◎印：ブロック代表

- * 令和2年3月5日
地縁による団体として法人格取得
- * 令和2年4月1日
法人格取得に伴い総会決議は代議員制を採用
(自治会選出代議員46名 各種団体選出代議員6名 総数52名)

- 【第1ブロック】
絹山：◎足立 誠
香良：見田達紀
伊佐口：福井明弘
- 【第2ブロック】
日比宇：谷水 弘
鴨内：◎細見恵吾
小谷：細見俊晴
- 【第3ブロック】
沼：芦田勝郎
北御油：芦田孝紀
南御油：佐竹茂樹
井中：◎足立善昭
- 【第4ブロック】
北田井：金子昭彦
南田井：平井久雄
西田井：◎谷口政則
田中：足立義昭
- 【第5ブロック】
氷上：中川一八
南油良：◎足立真一
北油良：吉田一樹
棧敷：神谷尚弘

代議員

理事会

上村行男 田中健治
福井明弘 芦田孝紀
細見俊晴 谷水雄一
中川泰一 上山修平
豊嶋重子 足立 誠
細見恵吾 足立善昭
谷口政則 足立真一

自治会長会

会 長：福井明弘
副会長：芦田孝紀

幸世自治振興会

会 長：上村行男
副会長：田中健治
副会長：福井明弘
(自治会長会会長)

- 監事：平井久雄
- 監事：中瀬勝之

北っ子の生き方を育む会

会 長：上村行男
副会長：黒田睦美
(北小学校校長)
副会長：鷺野光一
(北小学校 PTA 会長)

事務局
白井幸代
コミュニティー推進員
見田達紀

委員 長：細見俊晴
(前年度自治会長会会長)
副委員 長：足立嘉之
(前年度自治会長会副会長)
副委員 長：福井明弘
(自治会長会会長)
副委員 長：芦田孝紀
(自治会長会副会長)

各種団体

市 会 議 員：谷水雄一
農 業 委 員：芦田義彦
北 小 学 校：黒田睦美
北 小 P T A：鷺野光一
消 防 団(第5)：谷垣瑛一
消 防 団(第6)：芦田久志
民 生・児 童：中瀬勝之
若 者 交 流 会：上山修平
ボ ラ ン テ ィ ア G：豊嶋重子
体 育 振 興 会：中川泰一

地域づくり運営委員会

第1部会

部長：上田比良夫
(前年度理事)

細見恵吾 谷口政則 十倉正行
豊嶋重子 上山修平 鷺野光一
谷水 弘 中川一八 金子昭彦
平井久雄

第2部会

部長：田中政志
(前年度理事)

足立 誠 足立善昭 足立明典
中川泰一 芦田勝郎 足立義昭
吉田一樹

第3部会

部長：芦田宗信
(前年度理事)

足立真一 谷水雄一 佐竹茂樹
神谷尚弘 事務局

幸世地区内の交流・親睦を深め、それに支えられた協働活動による心豊かな地域づくり、地域の活性化に努めています。

さちよふれあい食堂



こども食堂

みんな輪になって

令和元年10月16日に第1回を開催してから、毎月1回開催で12回を数えました。途中、新型コロナの影響により3回お休みさせていただきましたが、毎回幸世ボランティアグループの皆さんのお世話によりメニューも季節感も交え旬なものを提供しています。食事後もビンゴ、七夕飾り、スティック工作等で楽しいひと時を過ごしています。

こどもだけでなく大人も参加できます。

こども：無料 大人：300円(コーヒー付き)





とんど焼き



恒例のとんど焼きを、1月10日新型コロナ禍の中ではありましたが、近隣の方、親子連れ等多くの参加を得て行いました。

1年間の災いを払い、豊作や商売繁盛、家内安全、子孫繁栄を願って行うのが「とんど焼き」と言われおり、持ち寄った門松やしめ縄などの縁起物を燃やします。また地域によって呼び方が異なり、他に「どんどん焼き」「どんど焼き」「左義長」などの呼び方があります。



イルミネーション ~丹波のイルミスポット~

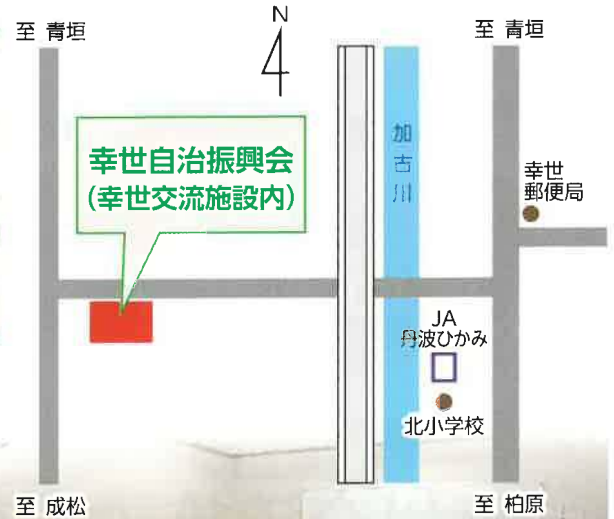
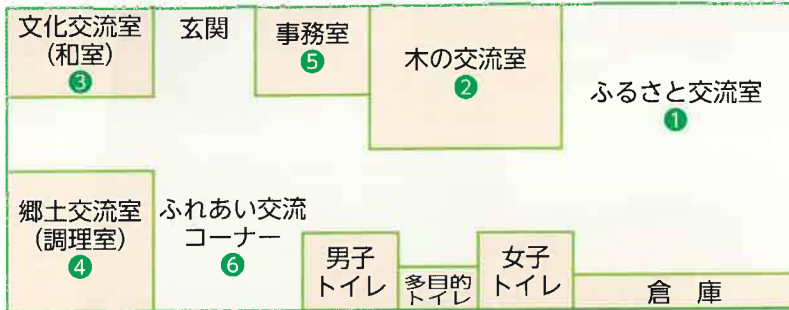
丹波のイルミスポットになっています。昨年に続き北小学校の児童、認定こども園さちよの園児の作品も七色に輝いています。

今年度は12月中旬より1月末まで点灯しておりました。飾付けは、今年も「若者交流会」の皆さんです。



幸世交流施設はこんなところです。

当施設は、木の香るまちづくり事業により県産材利用による木の良さについて理解と促進に資するべく、ふるさと交流室の平行弦トラス架構や施設のシンボルともいえる玄関ホールの越屋根まで延びた杉丸太柱など、先駆的工法の採用や県産材を使用して整備を行っています。



新規開店

準備中
近日オープン

場所
幸世交流施設



喫茶
幸

喫茶コーナー

改装工事が終わり、
テーブル、椅子も整い
急ピッチで準備が進む
喫茶コーナー。



交流施設に喫茶コーナーが誕生します。地域のふれあいの場、憩いの場としてご利用ください。

編集後記



- ・接興会が結成 60年を迎えました。人の世で言うなら還暦。新型コロナを経験している我々にとって「新たな生活様式」の始まりです。来るべき「高齢者社会」に向けて、振興会の果たすべき役割何なのか考えねば。
- ・自治会活動等地域づくりは、絶えず追い求めていかねばならない「正解のない永遠のテーマ」
- ・60年の歳月は、人々にいろんな試練を与えてきました。今またコロナ禍にあります。一日でも早い終息を願います。"春よ！いつ来る"